

## 四半期財務情報

本書はソシエテ ジェネラルが作成した英文資料の翻訳です。  
正確な内容については正文である英文の資料をお取り寄せの上、ご参照くださるようお願いいたします。

パリ、2011年11月8日

### 2011年第3四半期：グループ当期純利益は6億2,200万ユーロ

- グループ業務粗利益：65億ユーロ（前年同期比4.0%増\*）
- 好調なフランス国内外のリテールバンキング業務およびコーポレート&インベストメントバンキング部門の寄与
- ギリシャを除くリスク引当率は安定（51bp\*\*）
- 2011年第3四半期には経常外項目による大きな影響はない

### 2011年1~9月期：グループ当期純利益は22億8,500万ユーロ

- 一株当たり利益<sup>(1)</sup>：2.77ユーロ

### バランスシートの適応および資本ベースの強化

- GIIPS 諸国のソブリンリスクへのエクスポージャーを大幅に削減：2011年10月末時点34億ユーロ  
ギリシャ国債の引当率を60%へ引き上げ（税引き前で3億3,300万ユーロの損失）
- グループ引当率の引き上げ：不良債権引当率は71%から74%へ上昇
- 7月1日から11月1日の間に100億ユーロのレガシー資産を売却、業務粗利益への影響は限定的（税引き前で1億2,100万ユーロの損失）
- 流動性ニーズの大幅な低下：6月末以降400億ユーロの減少
- 取締役会は2011年の会計年度の配当金を見送ることを提案
  - ➔ 2011年9月末時点のコア Tier 1 比率：9.5%
  - ➔ 欧州銀行監督機構（EBA）の自己資本規制を満たすには2012年中旬までに資本ニーズを大幅に低減させることが必要：当初予想の33億ユーロから21億ユーロへ低減

\* グループ編成変更および為替相場の変動の影響の調整後（次ページ以降も適用）

\*\* 訴訟問題、レガシー資産、ギリシャ国債の評価損と特定のゲニキ銀行引当金の計上による影響のリスク引当ベース

(1) 超劣後債（2億2,500万ユーロ）および永久劣後債（1,800万ユーロ）に係る支払利息の控除後

PRESS RELATIONS  
SOCIETE GENERALE

LAETITIA MAUREL  
+33(0)1 42 13 88 68  
Laetitia.A.maurel@socgen.com

ASTRID BRUNINI  
+33(0)1 42 13 68 71  
Astrid.brunini@socgen.com

HELENE MAZIER  
+33(0)1 58 98 72 74  
Helene.mazier@socgen.com

SOCIETE GENERALE  
COMM/PRS  
758886 PARIS CEDEX 18  
SOCIETEGENERALE.COM

A FRENCH CORPORATION WITH SHARE CAPITAL OF  
EUR 970,099,988.75  
552 120 222 RCS PARIS

2011年11月7日に開催されたソシエテ ジェネラルの取締役会において、当グループの第3四半期および2011年1～9月期の決算が承認された。第3四半期のグループ当期純利益は6億2,200万ユーロとなった。これには複数の経常外項目が含まれているが、それが決算に影響を及ぼすことはなかった。主な経常外項目としては、金融債務の再評価による恩恵（5億4,200万ユーロのプラス寄与）が、他方では、引当率を60%として算出したギリシャ国債の評価損（2億3,900万ユーロの損失、税金および少数株主持分の控除前では3億3,300万ユーロの損失）および専門金融サービス&保険部門の消費者金融事業に係る2億ユーロののれんの減損損失が挙げられる。これらの項目の控除後では、グループ決算は主力事業部門の堅固性および特に厳しい環境下での当グループの回復力を実証するものであった。

フランス国内ネットワーク部門は引き続き、好調な商業活動および堅固な財務実績から恩恵を受けた。国際リテール バンキング部門は業績の改善を改めて実証した。ギリシャは例外で、子会社であるゲニキにおいては不良債権引当率を引き上げた。コーポレート&インベストメント バンキング部門の業績は市場の緊迫した状況による影響を受けたものの、黒字を維持した。専門金融サービス部門は残高の安定化と同時に相当な流動性および資本の制約の対処に成功した。プライベート バンキング、グローバル インベストメント マネジメント&サービス部門は厳しい市場環境の下、回復力を実証した。

第3四半期を特徴付けた激動の環境の中、当グループは非常に慎重な信用および市場リスク管理方針を採用した。夏季に見られた米ドルの流動性に関する緊張感に対して、ソシエテ ジェネラルは迅速に対処することが可能であることを実証した。このような背景の中、当グループは変革過程を加速させ、2013年末までにバランスシートおよび資金調達ニーズの大幅な削減を目指している。コーポレート&インベストメント バンキング部門は迅速に対応し、レガシー資産の売却（7月1日～11月1日の間に総額100億ユーロを売却、同期間の業務粗利益への影響は1億2,100万ユーロの損失）を加速すると共に、一部の融資業務の廃止または削減を行った結果、表明した削減目標の三分の二以上の達成が既に可能となった。

10月27日に欧州銀行監督機構（EBA）は欧州の銀行向けに新たな自己資本規制を公表した。欧州の銀行がバーゼルII基準のコアTier1比率（自己資本指令3の規定を含む）9%を達成することに加えて、2011年9月30日時点のソブリン債務のエクスポージャーに対する未実現キャピタルロスのカバーする追加的なバッファを蓄えるには、欧州の銀行は2012年中旬までに資本を増強する必要がある。新たな要件に加えて、当グループは2011年初頭から既にソルベンシー比率を引き上げていたことを考慮して、取締役会は当グループの資本力の強化を最優先事項に据えた。取締役会は定時株主総会において2011年の会計年度に関しては配当金を見送ることを提案すると決定した。配当金引当金の戻し入れおよび第3四半期決算により、2011年9月末時点のバーゼルII基準のコアTier1比率は9.5%へ上昇した（2010年12月31日：8.5%）。このことから、当グループの資本増強ニーズは21億ユーロとなり（2011年9月30日時点のデータ）、これは自己資金（利益準備金、リスク調整後資産の厳格な管理、資産売却）を通して2012年6月30日までに達成できる見通しである。

当グループの会長兼CEOであるフレデリック・ウデアは次のように述べている。「厳しい環境において、第3四半期は当グループの回復力を実証することとなりました。主力事業部門の収益力は堅固です。当グループは、今回の危機からの影響を最も受けている主力事業部門の対策に尽力しており、特に営業インフラの再編、コーポレート&インベストメント バンキング部門の業績連動報酬の大幅な削減、2012年に予定されている国際リテール バンキング部門の生産性の向上等を通じたコスト管理

に注視しています。また、コーポレート&インベストメント バンキング部門のニーズの制限、低コストでの膨大な額のレガシー資産の売却、GIIPS諸国のソブリン債務エクスポージャーの年初からの半減など、バランスシートの削減を断固として開始しました。当グループは、欧州銀行監督機構のブルデンシャル規制を2012年中旬までに、バーゼルIII規制を2013年までに、可能な限り速やかに満たすために資本を増強することを最優先事項に据えています。」

**1. グループ連結決算**

単位：百万ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期	増減	2010年 9月期	2011年 9月期	増減
業務粗利益	6,301	6,504	+3.2%	19,561	19,626	+0.3%
比較可能ベース*			+4.0%			+0.6%
業務粗利益**	6,389	5,682	-11.1%	19,293	19,150	-0.7%
比較可能ベース*			-10.6%			-0.5%
営業費用	-4,039	-4,018	-0.5%	-12,105	-12,635	+4.4%
比較可能ベース*			+0.7%			+5.3%
営業総利益	2,262	2,486	+9.9%	7,456	6,991	-6.2%
比較可能ベース*			+9.8%			-7.1%
引当金	-918	-1,192	+29.8%	-3,060	-3,255	+6.4%
営業利益	1,344	1,294	-3.7%	4,396	3,738	-15.0%
比較可能ベース*			-5.0%			-16.7%
のれんの減損損失	0	-200	NM	0	-200	NM
グループ当期純利益	896	622	-30.6%	3,043	2,285	-24.9%

				2010年 9月期	2011年 9月期	
グループ税引き後 ROTE				13.2%	8.9%	

**業務粗利益**

当グループの業務粗利益は、2011年第3四半期は65億ユーロ（前年同期：63億ユーロ）となり、また2011年1～9月期は196億ユーロ（前年同期比0.6%\*増）となった。

金融債務の再評価による影響の控除後では、業務粗利益は第3四半期で前年同期比10.6%\*減、1～9月期で同0.5%\*減となった。

第3四半期および1～9月期の業績は、当グループの主力事業部門のさまざまな状況を反映している。リテールバンキング部門および専門金融サービス&保険部門の良好な業績は、コーポレート&インベストメントバンキング部門およびプライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門の減収を相殺した。

- **フランス国内ネットワーク部門**の2011年第3四半期の業務粗利益は前年同期比6.4%増（PEL/CEL口座に係る引当金変動の影響およびSMCの控除後では同1.4%増）の20億3,500万ユーロとなった。1～9月期では、業務粗利益は調整をしていないベース（以下「絶対ベース」）で前年同期比6.5%増（PEL/CEL口座に係る引当金変動の影響およびSMCの控除後では同2.3%増）の61億1,100万ユーロとなった。
- **国際リテールバンキング部門**の第3四半期の業務粗利益は前年同期比2.3%\*減の12億2,900万ユーロとなった。当部門の業績は、東欧（特にチェコ共和国とロシア）、地中海湾岸地域、サハラ以南のアフリカおよびフランス国外領土の事業基盤の業務力に支えられた。これは依然厳しい状況にあるギリシャやルーマニアの遅々とした景気回復による影響を相殺した。国際リテールバンキング部門全般における健全な新規預金の伸びにより、貸出残高が増加したにも関わらず、預貸率は98%へ低下した。2011年1～9月期の業務粗利益は前年同期比0.1%増の36億7,800万ユーロ（前年同期：36億7,300万ユーロ）だった。
- **コーポレート&インベストメントバンキング部門**の主力事業部門の第3四半期の業務粗利益は前年同期比36.8%\*減、前期比31.0%\*減の12億4,700万ユーロとなった。減益の要因としては、債券市場の厳しい環境、特に欧州の発行市場における活動の低迷、および欧州ソブリ

ン債務危機が流通市場に与えた影響等が挙げられる。しかし、こうした中でも株式デリバティブ事業は回復力を示し、この分野において主導的な地位を堅持した。

当部門のレガシー資産は第3四半期の業務粗利益に対して、3700万ユーロの損失と、僅かながらマイナスに寄与した。

当部門の第3四半期の業務粗利益は前年同期比 36.0%\*減の 12 億 1,000 万ユーロとなった。2011 年 9 月末時点の累計利益は、前年同期比 7.5%\*減の 53 億 2,500 万ユーロだった。

- 資本および流動性の制限を受けてはいるものの、**専門金融サービス&保険部門**の業務粗利益は増加を続け、第3四半期では前年同期比 2.6%\*増の 8 億 5,000 万ユーロ、1~9 月期では同 3.7%\*増の 25 億 9,400 万ユーロとなった。専門金融サービスの中では、車両オペレーショナルリース・車両管理事業の良好な業績のさらなる証しを確認された。また同時に、当部門の保険事業の業務粗利益への寄与は増加を続けており、第3四半期に前年同期比 21.2%\*増、1~9 月期では同 15.5%\*増となった生命保険事業の利益が成長を牽引した。
- **プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門**の業務粗利益はまちまちの傾向となった。ブローカー事業は市場の変動から利益を享受した一方で、プライベートバンキング事業、アセットマネジメント事業、セキュリティーズサービス事業は金融市場の不利な傾向による影響を受け手数料は減少した。当部門の業務粗利益は第3四半期に前年同期比 3.7%\*減の 5 億 4,200 万ユーロとなり、1~9 月期では比較的安定しており、同 0.7%\*増の 16 億 6,900 万ユーロとなった。

金融債務の再評価による影響は、有効なリファイナンスコストを引き上げたことから、2011 年第3四半期は 8 億 2,200 万ユーロの利益（前年同期は 8,800 万ユーロの損失）となった。2011 年 9 月末時点の年初来の金融債務の再評価による累計的な影響は 4 億 7,600 万ユーロの利益（前年同期：2 億 6,800 万ユーロの利益）となった。

### **営業費用**

2011 年第3四半期の営業費用は前年同期比 0.7%\*増の 40 億ユーロ、1~9 月期は同 5.3%\*増の 126 億ユーロとなった。

絶対ベースでは、営業費用は過去2四半期を通して僅かながら減少した。

全体では、金融業務にとって厳しい環境の中、またグループ全体での事業投資を反映し、経費率は 2011 年第3四半期で 70.7%<sup>(a)</sup>、1~9 月期で 66.0%<sup>(a)</sup>となった。

### **営業利益**

金融債務の再評価による影響の控除後では、当グループの第3四半期の営業総利益は 17 億ユーロ（前年同期：23 億ユーロ）となった。1~9 月期では前年同期比 9.4%減の 65 億ユーロだった。

2011 年第3四半期のリスク引当は、ギリシャ国債に係る 3 億 3,300 万ユーロの評価損を計上したことから、11 億 9,200 万ユーロ（前年同期：9 億 1,800 万ユーロ、前期：11 億 8,500 万ユーロ）となった。評価損の計上およびコーポレート&インベストメントバンキング部門のレガシー資産のリスク引当による影響の控除後では、当グループのリスク引当は前期比 12.3%増の 7 億 4,100 万ユーロとなった。

ギリシャ（子会社 ゲニキ）を除くと、当グループの第 3 四半期のリスク引当比率は 51bp<sup>1(\*)</sup>（前期：50bp、前年同期：68bp）となった。

- 2011 年のガイダンスである 40bp に沿って、**フランス国内ネットワーク部門**のリスク引当比率は 2011 年第 3 四半期に 37bp となった（前期：36bp、前年同期：46bp）。
- **国際リテールバンキング部門**のリスク引当比率（ゲニキを除く）は年初来の低下基調を維持し、第 3 四半期に 81bp（前期：100bp、前年同期：129bp）となった。第 3 四半期には、リスク引当比率はロシアおよびチェコ共和国で低下した一方で、担保物件の再評価による影響を受け、ルーマニアは上昇した。ギリシャでは、第 3 四半期に企業向け引当金を 1 億 8,100 万ユーロへ引き上げ、不良債権引当率を 70% としたこと、ゲニキ子会社のリスク引当比率は上昇した。サハラ以南のアフリカおよび地中海沿岸地域のリスク引当比率は低水準で抑えられている。
- **コーポレート&インベストメント バンキング部門**の主力事業部門のリスク引当比率は 25bp（前期：0bp、前年同期：4bp）と、特定の引当金は依然として極めて低水準で、ポートフォリオを基準とした引当金が増加した。レガシー資産のリスク引当は 1 億 1,800 万ユーロ（前期：1 億 3,000 万ユーロ、前年同期：1 億 800 万ユーロ）となった。
- **専門金融サービス部門**のリスク引当比率は消費者金融事業および設備ファイナンス事業双方において改善を続け、第 3 四半期は 137bp（前期：156bp、前年同期：221bp）となった。

2011 年第 3 四半期の不良債権引当率は 74% と、前期の 71% から大幅に引き上げられ、当グループの慎重な引当金方針を実証する形となった。

2011 年 10 月 27 日に締結された欧州協定に従い、ギリシャ国債の評価損として 3 億 3,300 万ユーロを計上した。実際に交換されるまでは、評価損はコーポレート センターに計上される。

当グループの 2011 年第 3 四半期の営業利益は 12 億 9,400 万ユーロ（前年同期比 3.7% 減）となり、金融債務の再評価およびギリシャ国債の評価損の計上による影響の控除後では、同 43.8% 減となった。

1~9 月期の営業利益は 37 億ユーロと、金融債務の再評価およびギリシャ国債の評価損の計上による影響の控除後で前年同期比 0.8%\* 減（絶対ベースでは同 3.4% 減）となった。

### 当期純利益

所得税（当グループの実効税率：34.6%）および少数株主持分の控除後では、当期純利益は 2011 年第 3 四半期で 6 億 2,200 万ユーロ（前年同期：8 億 9,600 万ユーロ、30.6% 減）、1~9 月期で 22 億 8,500 万ユーロ（前年同期：30 億 4,300 万ユーロ、24.9% 減）となった。

当期純利益の変動は主に、ギリシャ国債の評価損の計上（今第 3 四半期：2 億 3,900 万ユーロの損失、累計ベースでは 5 億 700 万ユーロの損失）および 2 億ユーロの消費者金融事業ののれんの減損損失を要因としている。

当グループの税引き後 ROE は、2011 年第 3 四半期は 5.4%、1~9 月期は 7.0% だった。1~9 月期の ROTC は 8.9% となった。超劣後債および永久劣後債に係る支払い利息<sup>21</sup>の控除後では、1~9 月期の一株当たり利益は 2.77 ユーロだった。

<sup>(\*)</sup> 年率ベース、訴訟問題、期初現在での資産に係るレガシー資産およびギリシャ国債の評価増の計上の影響の控除後

<sup>1</sup> 2011 年 9 月末時点の超劣後債および永久劣後債に係る税引き後の支払い利息はそれぞれ 2 億 2,500 万ユーロおよび 1,800 万ユーロだった。

## 2. グループの資本構成

---

### 資本およびソルベンシー

2011年9月30日時点の当グループの株主資本は総額481億ユーロ<sup>1</sup>および一株当たり純資産価値は54.62ユーロ（未実現キャピタルロスの0.13ユーロを含む）だった。第3四半期にソシエテ ジェネラルは1,680万株の自社株の買戻しを実施した。これには2011年8月22日に締結した流動性契約に基づき購入した890万株が含まれている。同期間に、ソシエテ ジェネラルは流動性契約を通して700万株を売却している。全体では、2011年9月末時点、ソシエテ ジェネラルは、トレーディング目的の保有分を除き、直接的および間接的に、株主資本の3.60%相当となる、2,790万株の自社株（900万株の金庫株を含む）を保有していた。また同時点において、ソシエテ ジェネラルは従業員に付与するストックオプションを賄うために750万株の購入オプションを保有していた。

為替相場の変動の影響の控除後では、バーゼルII基準のリスク調整後資産（2011年9月30日時点：3,345億ユーロ、2011年6月30日：3,330億ユーロ）は0.1%減となった。これは第3四半期の不安定な経済環境下における、当グループの厳格な管理方針を反映したもので、特に市場リスクへのエクスポージャーは4.6%減、またレガシー資産ポートフォリオに配分されるリスク調整後資産は7.6%減となった。

取締役会が定時株主総会において、2011年の会計年度に関しては配当金を見送ることを提案すると決定したことから、2011年9月30日時点のTier 1比率は11.6%<sup>2</sup>およびコアTier 1比率は9.5%と、2010年12月31日の水準（Tier 1比率：10.6%、コアTier 1比率：8.5%）を100bp上回った。2011年1～9月期にTier 1比率が大幅に向上したことは、Tier 1比率の98bpの上昇に寄与した当グループの収益力（実現収益、株主による株主配当支払いオプションの行使、従業員向け増資）、およびレガシー資産の積極的な管理を実証している。会計年度中のレガシー資産の売却およびポートフォリオの自然償還は、プルデンシャル資本の28bpの増加に寄与した。

### バランスシートおよび流動性

2011年9月30日時点の、保険、デリバティブ、現先取引、調整勘定の控除後の当グループのバランスシートは総額6,540億ユーロだった。株主資本、顧客預金、中長期調達資金は5,000億ユーロ、すなわちバランスシートの四分の三以上を占めており、当グループの長期的な資金用途をカバーしている。

一方、短期調達資金（1,540億ユーロ）は中央銀行への余剰準備預金（390億ユーロ）および短期資産をまかなった。

中央銀行での借り換えの対象となる利用可能資産は770億ユーロ、対象外の可動性流動資産は130億ユーロとなり、流動性準備金は900億ユーロとなった。

最後に、2011年度の中長期資金調達計画（260億ユーロ）は第3四半期に完了した。第3四半期に、ソシエテ ジェネラルは41億ユーロを5.6年の平均満期期間およびスワップを平均100bp上回るスプレッドにて調達した。当グループの借り換えニーズ、主に米ドルの借り換えニーズの削減を目的とした現在の取り組みにより、2012年度の中長期資金調達計画は100～150億ユーロと、2011年度の半分程度となる見通しである。

当グループはムーディーズよりAa3、S&PおよびフィッチよりA+の格付けを付与されている。

---

<sup>1</sup> この数値には主に(i)62億ユーロの超劣後債、8億ユーロの永久劣後債、および(ii)1億ユーロの未実現キャピタルロスが含まれる

<sup>2</sup> フロア効果（フロア水準に関する追加必要資本）の控除後：Tier 1比率は21bp低下

### 3. フランス国内ネットワーク部門

単位：百万ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期	増減	2010年 9月期	2011年 9月期	増減
業務粗利益	1,913	2,035	+6.4%	5,736	6,111	+6.5%
PEL/CEL 引当金の影響および SMC を除外			+1.4%			+2.3%
営業費用	-1,199	-1,273	+6.2%	-3,680	-3,890	+5.7%
営業総利益	714	762	+6.7%	2,056	2,221	+8.0%
PEL/CEL 引当金の影響および SMC を除外			-1.6%			+1.5%
引当金純繰入額	-197	-169	-14.2%	-645	-508	-21.2%
営業利益	517	593	+14.7%	1,411	1,713	+21.4%
当期純利益	340	390	+14.7%	931	1,126	+20.9%
PEL/CEL 引当金の影響を除外			+6.7%			+14.7%

フランス国内ネットワーク部門（ソシエテ ジェネラル、クレディ デュ ノール、ブルソラマ）の第 3 四半期決算は、良好な営業実績を背景にさらに増加した。

顧客基盤が引き続き拡大した。顧客満足度を重視する営業方針により、口座開設数が 5 万 3,600 口座の純増となった。当部門は、「新世代」支店、および新しい「中小企業カスタマーサービス理念」に基づく 200 カ所の中小企業専門ビジネスセンターの新設を通じて、顧客に「歓迎」の姿勢を伝えることに注力している。

当部門の預金残高は、重点的な営業方針の実施を背景に前年同期比 5.4%<sup>(a)</sup>増加した。PEL 口座控除後の規制貯蓄制度（*épargne à régime special*）（前年同期比 13.1%<sup>(a)</sup>増）および要求払い預金（同 5.4%<sup>(a)</sup>増）の伸びが大きく、この増加は建設的な内容だった。

グループのフランス国内の融資事業は引き続き活発だった。貸出残高は、投資ローンの新規貸出高を筆頭に全体で前年同期比 3.1%<sup>(a)</sup>増の 1,711 億ユーロとなった。住宅ローンは、精力的な営業活動が奏功して 42 億ユーロの新規契約を獲得したため、残高が大幅に増加した（前年同期比 7.3%<sup>(a)</sup>増）。

当部門の預貸率は 126%と、前年同期から 4 ポイント低下した（前年同期：130%）。

9 カ月にわたって株価指数が下落する中、第 3 四半期の金融市場の大幅な変動が当部門の生命保険投資に直接影響を与え、第 3 四半期の新規受入資金は 20 億ユーロに減少した。契約残高は前年同期比 3.7%<sup>(a)</sup>増の 798 億ユーロだった。

当部門の第 3 四半期の財務実績は、昨年来の良好な実績を踏襲したものとなった。業務粗利益は前年同期比 4.3%<sup>(b)</sup>増の 20 億 3,500 万ユーロとなった（SMC の買収控除後では 1.4%<sup>(b)</sup>増）。収益を支えたのは、利ざやの拡大（前年同期比 4.8%<sup>(b)</sup>増）と手数料の増加傾向（同 3.6%<sup>(b)</sup>増）だった。営業費用が前年同期の 11 億 9,900 万ユーロから 12 億 7,300 万ユーロに増加（同 6.2%増）したが、これは過去 2 年に実施した業務関連投資によるものである。

今第 3 四半期の当部門の経費率は、62.9%<sup>(b)</sup>となった。

また、営業総利益は前年同期比 1.2%<sup>(b)</sup>増の 7 億 6,200 万ユーロだった。

<sup>(a)</sup> SMC の控除後

<sup>(b)</sup> PEL/CEL 関連の控除後

フランス国内ネットワーク部門の今第3四半期のリスク引当は1億6,900万ユーロで、リスク引当比率は37bpとなった（前年同期：46bp、前期：36bp）。この比率が1年間の低下を経て安定したのは、法人顧客（中小企業と機関投資家）のリスク引当の改善によるところが大きい。

2011年第3四半期の当部門のグループ当期純利益への寄与は、前年同期比14.7%増の3億9,000万ユーロだった。

2011年年初来9カ月間で見ると、業務粗利益は前年同期比5.1%<sup>(b)</sup>増の61億1,100万ユーロだった。また、営業費用は同5.7%増加した。経費率は64.0%<sup>(b)</sup>で、前年同期から0.3ポイントの小幅上昇となった。当部門の年初来9カ月間のグループ当期純利益への寄与は11億2,600万ユーロだった（前年同期比20.9%増）。

#### 4. 国際リテールバンキング部門

単位：百万ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期	増減	2010年 9月期	2011年 9月期	増減
業務粗利益	1,250	1,229	-1.7%	3,673	3,678	+0.1%
比較可能ベース			-2.3%			-1.0%
営業費用	-695	-731	+5.2%	-2,052	-2,223	+8.3%
比較可能ベース			+5.1%			+7.5%
営業総利益	555	498	-10.3%	1,621	1,455	-10.2%
比較可能ベース			-11.5%			-11.8%
引当金純繰入額	-305	-314	+3.0%	-1,005	-905	-10.0%
営業利益	250	184	-26.4%	616	550	-10.7%
比較可能ベース			-29.3%			-14.3%
当期純利益	149	90	-39.6%	388	250	-35.6%

国際リテールバンキング部門は、健全なファンダメンタルを有する国々により引き続き業績が改善し、その事業モデルの堅固性が改めて実証された。子会社のゲニキ銀行の不良債権引当率が上昇したギリシャを除き、第3四半期の業務粗利益は2億1,600万<sup>(a)</sup>ユーロだった（前年同期比14.3%<sup>(a)</sup>増）。

第3四半期は特に当部門の営業活動が活発で、貸出残高は前年同期比6.7%\*増（前期比2.2%\*増）、預金残高は同5.5%\*増（前期比3.6%\*増）となり、9月末時点でそれぞれ667億ユーロ、678億ユーロとなった。預貸率は98%だった。

地中海湾岸地域にある子会社の顧客基盤は第3四半期も順調に拡大した。このことは、預金残高が前年同期比7.1%\*増と上向いたことからもうかがえる（前期比3.5%\*増）。貸出残高も増加した（前年同期比14.6%\*増）。この地域では38支店が新設されたほか、前年同期比20万件以上の新規顧客を含め顧客数が約230万件となるなど、営業基盤がさらに強化された。こうした健全な機運は、年初こそ政治的混乱による減速が見られたものの、その後夏場にかけて徐々に正常化したのを受けたためであり、業務粗利益は前年同期比3.1%\*の増加となった。

ロシアの子会社ロスバンクとBSGVの法的合併は、今年7月初めに終了した。新生のユニバーサルバンクは、主に新しい単一情報システムのおかげで業務モデルの改良と最適化を継続できた。預金残高は第3四半期に高い伸びを記録した（前期比17.2%\*増）。リテールバンキング業務は引き続き拡大

<sup>(b)</sup> Excluding PEL/CEL

し、特に貸出残高の伸びが続いた（前年同期比 13.8%\*増、前期比 7.7%\*増）個人顧客ポートフォリオが好調だった（顧客数は前年同期比 6.7%\*増、前期比 6.3%\*増）。全体としてロシアの貸出、預金の伸びは前年同期比でそれぞれ 7.0%\*、18.3%\*となった。

厳しい状況が続くギリシャ、および景気回復が予想より遅れているルーマニアを除く**その他の中・東欧諸国**は、第 3 四半期に再び業績動向に弾みがついた。**チェコ共和国**では、コメルチニ銀行が貸出（前年同期比 9.6%\*増）、預金（同 4.0%\*増）とも良好な営業実績を計上した。伸びは特に個人顧客分野で大きく、前期比約 1 万件の新規顧客を獲得したほか、貸出残高、預金残高は前年同期比でそれぞれ 11.1%\*、4.6%\*増加した。**ルーマニア**は、融資承認方針が相変わらず厳しい。貸出残高は引き続き若干減少した（前年同期比 1.1%\*減）。しかし、預金は企業分野（前年同期比 6.4%\*増）に支えられ、同 5.0%\*増加した。

<sup>(a)</sup> ギリシャの子会社、ゲニキ銀行のグループ当期純利益への寄与を除く

**ギリシャ**では経済とソブリン債の危機が続く中、当グループは数四半期にわたって厳しい管理方針を維持している。預金の減少に歯止めをかけるため具体的な営業活動を導入する一方、すべての顧客分野にきわめて厳格な貸出方針を採用している。2011 年第 3 四半期の貸出と預金の減少幅は、前年同期比でそれぞれ 15.6%\*、25.5%\*だった。

**サハラ以南のアフリカおよびフランス国外領土**では、前四半期に業況が顕著に回復した後、第 3 四半期は通常の状態に戻り、貸出、預金の前年同期比伸び率はより緩やかとなった（前期比ではそれぞれ 0.5%\*増、1.3%\*増）。

こうしたことから、国際リテールバンキング部門の第 3 四半期の業務粗利益は 12 億 2,900 万ユーロと、やや減少した（前年同期比 2.3%\*減、絶対ベースでは 1.7%減、前期比 2.0%\*減）。

営業費用は 7 億 3,100 万ユーロで、前年同期比 5.1%\*増（絶対ベースでは 5.2%増）、前期比では 2.5%\*減となった。特にロシアの営業費用は、主に高インフレの持続と合併関連投資が響いて前年同期比 13.9%\*増加した。

営業総利益は 4 億 9,800 万ユーロだった。経費率は前期の 59.8%に対して 59.5%だった。

当部門の第 3 四半期のリスク引当比率は、ギリシャの子会社ゲニキ銀行を除くと 81bp に低下した（前期：100bp、前年同期：129bp）。第 3 四半期は、ルーマニアの純リスク引当が担保の再評価後に大幅に悪化した一方、ロシアとチェコ共和国が大幅に改善したため、不良債権引当率は 42%に上昇した（前期：39%）。

第 3 四半期の当部門のグループ当期純利益への寄与は 9,000 万ユーロだった。

年初来 9 カ月間で見ると、業務粗利益は 36 億 7,800 万ユーロで前年同期比横ばいだった。営業費用は 7.5%\*増加した（絶対ベースでは 8.3%増）。経費率は、前年同期の 55.9%に対して 60.4%となった。当部門のグループ当期純利益への寄与は 2 億 5,000 万ユーロで、前年同期の 3 億 8,800 万ユーロから低下した。

**5. コーポレート&インベストメントバンキング部門**

単位：百万ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期	増減	2010年 9月期	2011年 9月期	増減
業務粗利益	1,934	1,210	-37.4%	5,829	5,325	-8.6%
比較可能ベース			-36.0%			-7.5%
<sup>1</sup> および <sup>2</sup> グローバルマーケット	729	616	-15.5%	1,987	1,912	-3.8%
レガシー資産	1,295	631	-51.3%	3,884	3,365	-13.4%
営業費用	-90	-37	+58.9%	-42	48	NM
比較可能ベース			-13.6%			+3.6%
営業総利益	-1,159	-971	-16.2%	-3,385	-3,449	+1.9%
比較可能ベース			-13.6%			+3.6%
営業総利益	775	239	-69.2%	2,444	1,876	-23.2%
比較可能ベース			-69.1%			-22.7%
引当金純繰入額	-123	-188	+52.8%	-498	-469	-5.8%
レガシー資産	-108	-118	+9.3%	-419	-344	-17.9%
営業利益	652	51	-92.2%	1,946	1,407	-27.7%
比較可能ベース			-92.4%			-27.4%
当期純利益	468	77	-83.5%	1,419	1,117	-21.3%

(1) うち「エクイティ」は2011年第3四半期に4億7,200万ユーロ（前年同期：6億3,900万ユーロ）、「債券・為替・コモディティ」は同第3四半期に1億5,900万ユーロ（前年同期：6億5,600万ユーロ）。

第3四半期は、主に欧州のソブリン債危機を背景に世界経済の先行き不透明感が強まった。そのため市場が下落し、ボラティリティが大幅に上昇し、信用スプレッドが急拡大した。こうした中、当グループは市場リスク・エクスポージャーに対する慎重な方針を強化した。業界をリードする当部門のエクイティデリバティブとストラクチャード・ファイナンス業務に支えられ、部門収益の減少に一定の歯止めがかかった。SG CIBは危機による影響が最も大きい欧州市場へのエクスポージャーが高いものの、収益の落ち込みは業界並みの減少にとどまった。結果的に2011年第3四半期の業務粗利益は、前年同期比36.0%減、前期比34.0%減の12億1,000万ユーロだった（レガシー資産の3,700万ユーロのマイナス寄与を含む）。

マーケット業務の業務粗利益は、前年同期比50.0%減の6億3,100万ユーロだった（絶対ベースでは同51.3%減）。当事業は、第3四半期のきわめて不安定な市場の中でリスク・プロファイルを低下させ（平均VaRは前期比15%低下）、同時に資金調達、特に米ドル建ての需要を引き下げた。

エクイティ業務については、市場の各種指数が下落し、配当への期待が萎み、ボラティリティとコリレーション（相関性）が急上昇する環境下で、前年同期比26.0%減の4億7,200万ユーロ（現在の為替レート）の業務粗利益を計上し、その底堅さを実証した。SG CIBは、「リテール・エクイティデリバティブの最も革新的な投資銀行」（『ザ・バンカー』誌、2011年10月）、および「エクイティデリバティブにおけるグローバルプロバイダー」（『リスク』誌ディーラー間ランキング、2011年10月）を受賞しており、エクイティデリバティブにおける首位の座を堅持した。

逆風の市場環境を背景に、債券・為替・コモディティ業務の実績は、特にクレジット商品を中心に大幅に低下した。第3四半期の業務粗利益は、GIIPS（ギリシャ、イタリア、アイルランド、ポルトガル、スペイン）のソブリン債リスクに関わる8,700万ユーロの損失計上後で、前年同期比75.9%減の1億5,900万ユーロとなった。ただし、変動金利・通貨業務およびコモディティ・デリバティブについては顧客関連の取引量は増加した。また、SG CIBは以下の賞を受賞した。アルファFXプラットフォームに対して「E-FX イニシアチブ・オブ・ザ・イヤー」（『FXウィーク』誌、2011年8月）、当社独自のコモディティ・アルファ戦略、すなわちSGIスマート・マーケット・ニュートラル・コモ

ディティ・インデックス (SGI SMN) に基づく取引に対して「イノベーション・オブ・ザ・イヤー」 (『エネルギー・リスク・アジア』、2011年9月)。

第3四半期のファイナンス&アドバイザリー事業は、業務粗利益が前年同期比 13.2%\*減の 6 億 1,600 万ユーロとなったものの、依然高い収益レベルを確保した。収益に最も貢献したのは天然資源ファイナンス、および欧州のインフラファイナンス、輸出ファイナンスだった。SG CIB は、ストラクチャリングを担当する主幹事やブックランナー、金利リスクヘッジのプロバイダーとして、ドイツの沖合いにある北海の風力発電プラントの建設・運営に関し、グローバル・テク 1 オフショア・ウィンド (Global Tech 1 Offshore Wind GmbH) を受益者とする 10 億 4,700 万ユーロの融資ファシリティを取りまとめた。これは、過去に実施されたこの種のプロジェクト・ファイナンス・ファシリティとしては最大である。

しかし、キャピタルマーケット業務は、低調な発行高と市場変動による欧州での株式発行の相次ぐ延期に打撃を受けた。そうしたなかでも SG CIB は、ポーランドで今年最大の IPO (新規株式公開) 案件の主幹事と共同ブックランナーを務めた (JSW、19 億米ドル)。2011 年の年初来 9 カ月では、SG CIB は欧州、中東、アフリカ地域のプロジェクト・ファイナンス・ブックランナーとして首位にランクされたほか、フランスの株式、転換社債発行のブックランナーとしても首位となった (出所: トムソン・ロイター)。

レガシー資産は、2011 年第 3 四半期の業務粗利益に 3,700 万ユーロのマイナス寄与となった。SG CIB は 7 月初め以降、資産処理を通じてエクスポージャーの圧縮を加速させている。売却額は 11 月 1 日現在、額面で 100 億ユーロだった (償却を除く)。売却は当行に大きな負担がかからない範囲で実施した (第 3 四半期に 4,500 万ユーロ減、10 月に 7,600 万ユーロ減)。2011 年第 3 四半期に限ると、保有資産の圧縮幅は 67 億ユーロだった (売却が 58 億ユーロ、償却が 8 億ユーロ)。年初来 9 カ月のレガシー資産による業務粗利益への寄与は、前年同期の 4,200 万ユーロのマイナスに対し、4,800 万ユーロのプラス寄与となった。年初以降、保有資産は 150 億ユーロ減少している。

当部門の第 3 四半期の営業費用は、前年同期比 13.6%\*減の 9 億 7,100 万ユーロだった。年初来 9 カ月の営業費用は、前年同期比 3.6%\*増の 34 億 4,900 万ユーロだった。当部門の経費率は 64.8%だった。

当部門の主力業務のリスク引当は、ポートフォリオ・ベースの引当金増加により 7,000 万ユーロとやや増加し、25bp となった (2011 年第 2 四半期: 0bp、同第 1 四半期: 12bp)。レガシー資産のリスク引当は 1 億 1,800 万ユーロだった (前期: 1 億 3,000 万ユーロ)。

当部門の第 3 四半期の営業利益は 5,100 万ユーロだった (前年同期: 6 億 5,200 万ユーロ)。グループ当期純利益への寄与は 7,700 万ユーロだった (前年同期: 4 億 6,800 万ユーロ、前期: 4 億 4,900 万ユーロ)。

1-9 月の当部門のグループ当期純利益への寄与は、前年同期の 14 億 1,900 万ユーロに対して 11 億 1,700 万ユーロだった。

**6. 専門金融サービス&保険部門**

単位：百万ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期	増減	2010年 9月期	2011年 9月期	増減
業務粗利益	888	850	-4.3%	2,663	2,594	-2.6%
比較可能ベース			+2.6%			+3.7%
営業費用	-464	-448	-3.4%	-1,376	-1,376	0.0%
比較可能ベース			+6.8%			+10.8%
営業総利益	424	402	-5.2%	1,287	1,218	-5.4%
比較可能ベース			-1.7%			-3.3%
引当金純繰入額	-299	-189	-36.8%	-909	-616	-32.2%
営業利益	125	213	+70.4%	378	602	+59.3%
比較可能ベース			+75.4%			+62.6%
当期純利益	87	-53	NM	249	224	-10.0%

専門金融サービス&保険部門は以下の事業により構成されている。

- (i) 保険事業（生命保険、個人保護保険、損害保険）
- (ii) 専門金融サービス事業（車両オペレーショナルリース・車両管理、設備ファイナンス、消費者金融）

専門金融サービス&保険部門の2011年第3四半期の業務粗利益は前年同期比2.6%\*増の8億5,000万ユーロとなった。

流動性と資本が限定される環境の中、専門金融サービス事業全体では、安定的な契約および貸出残高が維持され、資源の最適化が継続されたことから、当グループ以外のリファイナンス先へのアクセスの開拓が進められた。

車両オペレーショナルリース・車両管理事業では、ALDオートモーティブが第3四半期も好調な業況を続け、新規契約高は前年同期比15.9%<sup>(1)</sup>拡大した。9月末時点の車両管理台数は前年比9.1%<sup>(1)</sup>増の約898,000台となった。

設備ファイナンス事業は、新規契約高（ファクタリングを除く）が前年同期比4.6%\*増の19億ユーロとなり、拡大基調を維持した。2011年9月末時点の契約残高（ファクタリングを除く）は、前年同期比3.9%\*減の180億ユーロとなったが、前期比では横ばい<sup>(1)</sup>となった。

2011年第3四半期の消費者金融事業は引き続き回復基調となった。新規貸出高は前年同期を若干下回る2.5%\*減の25億ユーロとなった。9月末時点の消費者金融貸出残高は223億ユーロとなり、前年同期比で横ばい\*だった。

専門金融サービス事業の今第3四半期の業務粗利益は、前年同期比横ばい\*の7億ユーロとなった。営業費用は前年同期比5.9%\*増の3億9,100万ユーロとなった。年初来9カ月で見ると、専門金融サービス事業の業務粗利益は同1.3%\*増の21億4,600万ユーロとなり、営業費用は同10.6%\*増の12億600万ユーロとなった。その結果、営業総利益は前年同期比8.5%\*減の9億4,000万ユーロとなった。

専門金融サービス事業の第3四半期のリスク引当は引き続き改善し、前年同期の221bpに対し137bp（1億8,900万ユーロに相当）となり、84bpの改善となった。

<sup>(1)</sup> グループ編成変更の影響を除いたベース

2011年第3四半期の**保険部門**の業務粗利益は前年同期比19.0%\*増の1億5,000万ユーロ（前年同期：1億2,600万ユーロ）となった。また、年初来9カ月の業務粗利益は前年同期を大幅に上回り、17.3%\*増の4億4,800万ユーロとなった。

貯蓄事業には厳しい環境の下、生命保険の新規契約受入資金は前年同期比31.9%\*減の18億ユーロとなった。解約の増加がマイナス影響を及ぼしたものの、新規契約純受入資金の減少額は3億ユーロにとどまった。こうした中、ロシアを中心とするフランス国外における事業が拡大した上、フランス国内の借手が利用する国内保険商品の拡大が継続したことから、個人保護保険の受取保険料収入は前年同期比24.7%\*増となった。

専門金融サービス&保険部門のグループ当期純利益への寄与は、消費者金融子会社の連結に伴い2億ユーロののれんの減損損失を計上したことから、2011年第3四半期はマイナスの5,300万ユーロ（前年同期：8,700万ユーロ）となった。のれんの減損損失を除いた同部門の寄与は前年同期比70.0%増の1億4,700万ユーロだった。

年初来9カ月の同部門の営業利益は前年同期比62.6%\*増の6億200万ユーロとなった。のれんの減損損失を除いたグループ当期純利益への寄与は、同70.3%増の4億2,400万ユーロだった。

**7. プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門**

単位：百万ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期	増減	2010年 9月期	2011年 9月期	増減
業務粗利益	568	542	-4.6%	1,664	1,669	+0.3%
比較可能ベース			-3.7%			+0.7%
営業費用	-504	-486	-3.6%	-1,481	-1,469	-0.8%
比較可能ベース			-2.4%			-0.3%
営業利益	69	56	-18.8%	183	176	-3.8%
比較可能ベース			-20.0%			-4.3%
当期純利益	80	60	-25.0%	209	216	+3.3%
プライベートバンキング	42	28	-33.3%	89	102	+14.6%
アセットマネジメント	26	16	-38.5%	65	81	+24.6%
SG SS およびブローカー	12	16	+33.3%	55	33	-40.0%

単位：十億ユーロ	2010年 第3四半期	2011年 第3四半期		2010年 9月期	2011年 9月期	
契約資産純受入額（期中）	-0.7	-0.4		-13.7	4.9	
運用資産残高（期末）	164	168		164	168	

当部門は、以下の3事業により構成されている。

- (i) プライベートバンキング事業（ソシエテジェネラルプライベートバンキング）
- (ii) アセットマネジメント事業（アムンディ、TCW）
- (iii) ソシエテジェネラル セキュリティーズサービス（SGSS）、ブローカー事業（ニューエッジ）

好ましくない市場状況の中、プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門の2011年第3四半期の業績は底堅さを示した。

第3四半期のプライベートバンキング事業の業務粗利益は前年同期比6.4%減の1億9,000万となった。最近の市場の大幅な低迷にもかかわらず、2011年9月末時点の運用資産残高は前年同期比2%増の836億ユーロに拡大した（前年同期：820億ユーロ）。

アセットマネジメント事業、セキュリティーズサービスおよびブローカー事業（ニューエッジ）は健全な業務力に下支えされた。TCWの契約資産受入額は4四半期連続で増加した。また、預かり資産残高は前年同期比1%増加した。ニューエッジの第3四半期の業務粗利益は市場のボラティリティが奏功して拡大した。

プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門の第3四半期の業務粗利益は前年同期比3.7%\*減（絶対ベースでは同4.6%減）の5億4,200万ユーロとなった。営業費用は前年同期比2.4%\*減少した。今第3四半期のグループ当期純利益への寄与は6,000万ユーロとなり、前年同期比25.0%減となった。

当部門の年初来9カ月の営業総利益は前年同期比ほぼ横ばいとなる0.7%\*増の16億6,900万ユーロだった。営業費用も前年同期並の14億6,900万ユーロであった。年初来9カ月間の累計グループ当期純利益への寄与は2億1,600万ユーロ（前年同期：2億900万ユーロ）となった。

### プライベートバンキング事業

2011年9月末時点の運用資産残高は、836億ユーロで前年比の2%増となったものの、2011年6月末比では25億ユーロ減少した。6月末比の運用資産の減少は主に、34億ユーロのマイナスの市場効果と6億ユーロの運用資産の流出に15億ユーロの為替差益を加味したものとなった。年初来の累計契約資産受入額は33億ユーロとなり、引き続き高水準となった。

2011年第3四半期のプライベートバンキング事業の業務粗利益は、手数料収入がよく持ちこたえ前年同期比15.6%増となったにもかかわらず、同6.4%減の1億9,000万ユーロに縮小した。

営業費用は、主に人員およびプロジェクトの増加により、前年同期比5.3%増の1億5,800万ユーロとなった。また、第3四半期の営業総利益は前年同期比43.9%減の3,200万ユーロだった。プライベートバンキング事業のグループ当期純利益への寄与は2,800万ユーロ（前年同期：4,200万ユーロ）となった。

当事業の年初来9カ月の業務粗利益は前年同期を大幅に上回る14.4%増の6億400万ユーロだった。営業費用は前年同期比10.6%増の4億6,800万ユーロとなった。営業総利益は前年同期比13.3%増、絶対ベースでは同16.2%増の1億3,600万ユーロだった。グループ当純利益への寄与は同12.1%増の1億200万ユーロとなった。

### アセット マネジメント事業

厳しい市場に直面しながらも、2011年第3四半期のTCWの契約資産純受入額は2億ユーロで、4四半期連続で増加となった。年初来の累計額は16億ユーロであった。

今第3四半期のアセット マネジメント事業のグループ当期純利益への寄与は2010年第3四半期の2,600万ユーロに対し1,600万ユーロとなった。また、第3四半期のアムンディの寄与は1,900万ユーロ（持分法適用）であった。

年初来9カ月のアムンディのグループ当期純利益への寄与は、前年同期の6,500万ユーロから8,100万ユーロに拡大した。

### ソシエテ ジェネラル セキュリティーズサービス (SGSS) 、ブローカー事業 (ニューエッジ)

2011年第3四半期のセキュリティーズサービス事業の業務粗利益は前年同期比11.5%の増加となり、引き続き健全な業務力が示された。預かり資産残高は前年同期を若干上回る1%増となった。

ニューエッジの業績は第3四半期の市場のボラティリティを背景に堅調であった。取引高は前年同期比11.3%増加した。ニューエッジの業務粗利益は前年同期比6.0%増となった。その一方、経費は前年同期比2.8%減と引き続き抑制された。

SGSSとニューエッジの第3四半期の業務粗利益は前年同期比9.0%増の2億7,900万ユーロとなった。営業費用は、セキュリティーズサービス事業における高水準な設備投資を反映し、前年同期を3.7%\*上回る2億5,000万ユーロとなった。

2011年第3四半期の当部門の営業総利益は前年同期比93.3%増の2,900万ユーロとなった。

セキュリティーズサービスとブローカー事業部門のグループ当期純利益への寄与は第3四半期は1,600万ユーロで、前年同期の1,200万ユーロから拡大した。

2011年の年初来9カ月を見ると、当部門の業務粗利益は前年同期を若干上回る2.0%\*増の8億2,300万ユーロとなった。営業費用は前年同期比4.6%\*増の7億5,800万ユーロに増加した。2011年9月末時点の営業総利益は前年同期の8,200万ユーロから6,500万ユーロに減少した。グループ当期純利益への寄与は前年同期の5,500万ユーロに対し、3,300万ユーロとなった。

## 8. コーポレート センター

---

2011年第3四半期のコーポレートセンターの営業総利益は、主に以下の要因を受け、前年同期の2億7,000万ユーロの損失から改善し、5億2,900万ユーロの利益を計上した

- 当グループの金融債務の再評価額は前期の1,600万ユーロの利益に対して第3四半期は8億2,200万ユーロの利益となった。金融債務は当グループの有効なリファイナンスコストに基づいて再評価された。年初来9カ月の当グループの金融債務の再評価額は4億7,600万ユーロの利益となった。
- 当グループの産業株ポートフォリオは再評価の対象となり、第3四半期の再評価額は5,700万ユーロの損失となった。
- 企業向けローンポートフォリオをヘッジするために使用した信用デリバティブ商品の再評価額が前年同期の6,800万ユーロの損失に対し、2011年第3四半期では4,300万ユーロの利益となった。年初来9カ月の累積再評価額は3,800万ユーロとなった。
- フランスおよび英国で導入された「システミックリスク」銀行税による損失は、第3四半期は2,800万ユーロであり、2011年通期の損失額の予想は1億ユーロとなる。
- 当グループが保有するギリシャ国債に対する評価損失引当金が営業総利益を3億3,300万ユーロ減少させており、2011年に計上したギリシャ国債の評価損失の合計額は7億2,700万ユーロとなった。この評価損失は、2011年7月21日と10月27日のユーロ圏各国の合意に基づくギリシャ国債の交換手続きが決定され次第、各部門に再配分されることとなる。

2011年9月30日現在の国際財務報告基準（IFRS）による産業株ポートフォリオの帳簿価格は4億9,600万ユーロ、時価では5億6,700万ユーロとなった。

## 9. 結論

2011年 第3 四半期のグループ当期純利益は6億2,200万ユーロとなり、非常に厳しい環境下でもソシエテ ジェネラルはそのユニバーサルバンキングモデルの堅固性を実証することとなった。

今第3 四半期は、当グループは、バランスシートの縮小と所要流動性の抑制を進め、リスクプロファイルを調整することにより、激変する環境へ対応を加速化させた。

欧州ソブリン債危機の解決に向けた昨今の政治的な決定の実行が待たれる中、当グループでは今第3 四半期の決算にギリシャ国債の名目価額の60%を減損費用として計上した。さらに、当グループは、ギリシャ以外のGIIPS諸国（イタリア、アイルランド、ポルトガル、スペイン）のソブリン債のエクスポージャーの軽減に務め、残存するエクスポージャーを極めて低水準となる約34億ユーロに低下させた。

当グループの主力事業のファンダメンタルズは引き続き良好であり、年初来9カ月を通して、当グループは、現在の厳しい環境に耐えうる能力を実証してきた。

第3四半期の決算に影響を及ぼした最近の異例な金融環境と経常外項目にもかかわらず、当グループは資本、資産、リスクにかかる徹底的な管理政策を実施することで、2011年初頭から資本の増強とコアTier1比率の改善を継続的に行ってきた。

当グループの資本の増強を優先させるために、ソシエテ ジェネラルの取締役会は2011年度の配当を見送る決定を下した。この結果、2011年9月末時点のコアTier1比率は9.5%となった。このような政策を取ることで、ソシエテ ジェネラルは、欧州銀行監督機構（EBA）の資本要件を満たすために必要な21億ユーロ（2011年9月末現在のデータに基づく推定値）の追加資本を、公的資金や市場からの調達に依存せずに、グループ内部の資源で（2012年6月末までに）十分賄うことが可能になると確信している。さらには、2012年半ばまでにはEBAのプルデンシャル規制への準拠も可能となり、このことは、バーゼルIII基準を十分にクリアする9.0%のコアTier1比率を2013年内に達成する過程での重要なステップとなる。

### 2012年の財務情報開示日程

2012年2月16日	2011年第4 四半期決算および通期決算の発表
2012年5月3日	2012年度第1 四半期決算の発表
2012年5月22日	年次総会
2012年8月1日	2012年度第2 四半期決算の発表
2012年11月8日	2012年度第3 四半期決算の発表

本文書にはソシエテジェネラルグループの目標・戦略に関する予測・意見が含まれています。これらの予測は、一般事項と特別事項（特別の定めのない限り、主に、欧州連合が採択している国際財務基準（IFRS）に準拠した会計原則・方法の適用、および既存のプルデンシャル規制の適用）の両方を含む、一連の前提に基づいています。

本情報は、特定の競争・規制環境下における複数の経済前提に基づくシナリオに則して作成されました。当グループは以下を行うことができない場合があります。

- 当グループの事業に影響をもたらす可能性のある全てのリスク、不透明要因またはその他要因を予測すること、およびそれらが当グループの業務に与える可能性のある影響を評価すること。

- リスクまたは複合リスクにより、実際の業績が本プレスリリースに記載されている予測とどの程度異なるかを正確に判断すること。

これらの予測は実現しない可能性があります。投資家の皆様におかれましては、本文書が提供する情報に基づいて投資上の決定をされる際には、当グループの業績に影響をもたらす可能性のある不透明要因やリスク要因を考慮されるようお勧めします。

特に明記しない限り、ランキングは内部資料によるものです。

## グループの主要指標 - 2011年第3四半期および9月期

## 1) 連結損益計算書

(単位: 百万ユーロ)	第3四半期				9月期			
	2010年	2011年	増減(%)		2010年	2011年	増減(%)	
業務粗利益	6,301	6,504	+3.2	+4.0(*)	19,561	19,626	+0.3	+0.6(*)
業務粗利益(1)	6,389	5,682	-11.1	-10.6(*)	19,293	19,150	-0.7	-0.5(*)
営業費用	(4,039)	(4,018)	-0.5	+0.7(*)	(12,105)	(12,635)	+4.4	+5.3(*)
<b>営業総利益</b>	<b>2,262</b>	<b>2,486</b>	<b>+9.9</b>	<b>+9.8(*)</b>	<b>7,456</b>	<b>6,991</b>	<b>-6.2</b>	<b>-7.1(*)</b>
純引当金	(918)	(1,192)	+29.8	+31.5(*)	(3,060)	(3,255)	+6.4	+6.7(*)
<b>営業利益</b>	<b>1,344</b>	<b>1,294</b>	<b>-3.7</b>	<b>-5.0(*)</b>	<b>4,396</b>	<b>3,736</b>	<b>-15.0</b>	<b>-16.7(*)</b>
固定資産売却益	(2)	20	NM		(2)	84	NM	
持分法適用会社純利益	33	32	-3.0		91	110	+20.9	
連結調整勘定償却	0	(200)	NM		0	(200)	NM	
法人税	(372)	(455)	+22.3		(1,178)	(1,142)	-3.1	
<b>少数株主持分控除前当期純利益</b>	<b>1,003</b>	<b>691</b>	<b>-31.1</b>		<b>3,307</b>	<b>2,588</b>	<b>-21.7</b>	
少数株主持分	107	69	+35.5		264	303	+14.8	
<b>当期純利益</b>	<b>896</b>	<b>622</b>	<b>-30.6</b>	<b>-34.6(*)</b>	<b>3,043</b>	<b>2,588</b>	<b>-24.9</b>	<b>-29.3(*)</b>
年率換算グループROTE(%)					13.2%	8.9%		
Tier 1 自己資本比率	10.6%	11.6%			10.6%	11.6%		

(\*) グループの組織変更に伴う調整と固定為替レートに基づく

(1) 金融債務の再評価による影響の控除後

## 2) 主要部門別税引後純利益

(単位: 百万ユーロ)	第3四半期			9月期		
	2010年	2011年	増減	2010年	2011年	増減
フランス国内ネットワーク	340	390	14.7%	931	1,126	20.9%
国際リテールバンキング	149	90	-39.6%	388	250	-35.6%
コーポレート&インベストメントバンキング部門	468	77	-83.5%	1,419	1,117	-21.3%
金融サービス&保険	87	(53)	NM	249	224	-10.0%
プライベートバンキング、グローバルインベストメント マネジメント&サービス	80	60	-25.0%	209	216	3.3%
プライベートバンキング	42	28	-33.3%	89	102	14.6%
アセットマネジメント	26	16	-38.5%	65	81	24.6%
SGSS&ブローカー	12	16	33.3%	55	33	-40.0%
<b>主力事業部門</b>	<b>1,124</b>	<b>564</b>	<b>-49.8%</b>	<b>3,196</b>	<b>2,933</b>	<b>-8.2%</b>
コーポレートセンター部門	(228)	58	NM	(153)	(648)	NM
<b>グループ合計</b>	<b>896</b>	<b>622</b>	<b>-30.6%</b>	<b>3,043</b>	<b>2,285</b>	<b>-24.9%</b>

## 連結貸借対照表 (単位：十億ユーロ)

資産	2011年9月30日	2010年12月31日	増減 (%)
現金および中央銀行預け金	39.6	14.1	x 2.8
損益勘定を通じて公正価値で測定された金融資産	475.1	455.1	+4
ヘッジ目的デリバティブ	12.5	8.2	+53
売却可能金融資産	126.8	103.8	+22
銀行預け金	96.6	70.3	+37
顧客貸出金	371.8	371.8	+0
リース債権および類似契約	28.8	29.1	-1
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	3.1	2.4	+30
満期保有目的金融資産	1.7	1.9	-8
税金およびその他の資産	63.2	49.0	+29
売却目的保有非流動資産	0.1	0.1	+80
繰延利益配分	2.1	1.1	+94
有形および無形資産その他	25.6	25.2	+2
資産の部合計	1,247.0	1,132.1	+10

負債	2011年9月30日	2010年12月31日	増減 (%)
中央銀行預金	0.5	2.8	-83
損益勘定を通じて公正価値で測定された金融負債	443.4	359.0	+24
ヘッジ目的デリバティブ	12.8	9.3	+38
銀行預金	109.9	77.3	+42
顧客預金	333.3	337.4	-1
証券形態の債務	125.8	141.4	-11
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	3.3	0.9	X3.8
税金およびその他の負債	68.5	56.3	+22
売却目的保有非流動負債	0.0	0.0	X3.2
保険会社の責任準備金	83.9	82.7	+2
引当金	2.1	2.0	+7
劣後債務	10.9	12.0	-9
株主資本	48.1	46.4	+4
少数株主持分	4.5	4.6	-1
負債合計	1,247.0	1,132.1	+10

**QUARTERLY RESULTS BY CORE BUSINESSES**

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<i>(in EUR millions)</i>												
<b>French Networks</b>												
Net banking income	1,781	1,875	1,867	1,943	1,892	1,931	1,913	2,055	2,038	2,038	2,035	
Operating expenses	-1,198	-1,206	-1,181	-1,326	-1,241	-1,240	-1,199	-1,378	-1,324	-1,293	-1,273	
<i>Gross operating income</i>	<i>583</i>	<i>669</i>	<i>686</i>	<i>617</i>	<i>651</i>	<i>691</i>	<i>714</i>	<i>677</i>	<i>714</i>	<i>745</i>	<i>762</i>	
Net allocation to provisions	-230	-214	-220	-306	-232	-216	-197	-219	-179	-160	-169	
<i>Operating income</i>	<i>353</i>	<i>455</i>	<i>466</i>	<i>311</i>	<i>419</i>	<i>475</i>	<i>517</i>	<i>458</i>	<i>535</i>	<i>585</i>	<i>593</i>	
Net income from other assets	0	1	0	1	4	1	0	1	1	0	1	
Net income from companies accounted for by the equity method	2	2	3	6	3	1	2	2	2	2	2	
Income tax	-120	-155	-158	-107	-144	-162	-176	-155	-182	-199	-202	
<i>Net income before minority interests</i>	<i>235</i>	<i>303</i>	<i>311</i>	<i>211</i>	<i>282</i>	<i>315</i>	<i>343</i>	<i>306</i>	<i>356</i>	<i>388</i>	<i>394</i>	
O.w. non controlling Interests	11	13	15	14	3	3	3	4	4	4	4	
<i>Group net income</i>	<i>224</i>	<i>290</i>	<i>296</i>	<i>197</i>	<i>279</i>	<i>312</i>	<i>340</i>	<i>302</i>	<i>352</i>	<i>384</i>	<i>390</i>	
Average allocated capital	6,078	6,160	6,224	6,291	6,569	6,494	6,189	6,487	6,607	6,551	6,574	
<b>International Retail Banking</b>												
Net banking income	1,167	1,189	1,174	1,219	1,183	1,240	1,250	1,257	1,189	1,260	1,229	
Operating expenses	-663	-681	-657	-680	-658	-699	-695	-717	-738	-754	-731	
<i>Gross operating income</i>	<i>504</i>	<i>508</i>	<i>517</i>	<i>539</i>	<i>525</i>	<i>541</i>	<i>555</i>	<i>540</i>	<i>451</i>	<i>506</i>	<i>498</i>	
Net allocation to provisions	-299	-310	-336	-353	-366	-334	-305	-335	-323	-268	-314	
<i>Operating income</i>	<i>205</i>	<i>198</i>	<i>181</i>	<i>186</i>	<i>159</i>	<i>207</i>	<i>250</i>	<i>205</i>	<i>128</i>	<i>238</i>	<i>184</i>	
Net income from other assets	1	10	0	-4	4	0	-2	-1	4	0	-1	
Net income from companies accounted for by the equity method	1	2	2	1	3	3	3	2	2	3	7	
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
Income tax	-41	-42	-36	-36	-31	-40	-46	-39	-29	-53	-39	
<i>Net income before minority interests</i>	<i>166</i>	<i>168</i>	<i>147</i>	<i>147</i>	<i>135</i>	<i>170</i>	<i>205</i>	<i>168</i>	<i>105</i>	<i>188</i>	<i>151</i>	
O.w. non controlling Interests	45	42	35	47	21	45	56	64	61	72	61	
<i>Group net income</i>	<i>121</i>	<i>126</i>	<i>112</i>	<i>100</i>	<i>114</i>	<i>125</i>	<i>149</i>	<i>104</i>	<i>44</i>	<i>116</i>	<i>90</i>	
Average allocated capital	3,559	3,611	3,562	3,574	3,603	3,653	3,770	3,865	3,980	3,916	3,969	

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>Corporate and Investment Banking</b>												
Net banking income	1,232	2,645	2,348	803	2,144	1,751	1,934	2,007	2,280	1,835	1,210	
Operating expenses	-937	-1,162	-1,037	-845	-1,152	-1,074	-1,159	-1,321	-1,315	-1,163	-971	
Gross operating income	295	1,483	1,311	-42	992	677	775	686	965	672	239	
Net allocation to provisions	-569	-257	-605	-889	-233	-142	-123	-270	-134	-147	-188	
Operating income	-274	1,226	706	-931	759	535	652	416	831	525	51	
Net income from other assets	0	-2	1	-6	1	-3	0	-5	2	63	25	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	21	13	18	9	0	0	0	0	0	0	
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Income tax	108	-361	-200	360	-225	-121	-181	-97	-239	-137	5	
Net income before minority interests	-166	884	520	-559	544	411	471	314	594	451	81	
O.w. non controlling Interests	5	6	2	3	3	1	3	3	3	2	4	
Group net income	-171	878	518	-562	541	410	468	311	591	449	77	
Average allocated capital	9,336	9,229	8,877	8,401	8,196	8,717	9,626	9,981	9,848	9,616	9,209	
<b>Core activities</b>												
Net banking income	2,824	2,810	2,635	1,579	2,167	1,680	2,024	1,894	2,238	1,792	1,247	
Financing and Advisory	578	661	642	629	602	656	729	757	641	655	616	
Global Markets	2,246	2,149	1,993	950	1,565	1,024	1,295	1,137	1,597	1,137	631	
o.w. Equities	647	1,034	1,057	693	786	357	639	684	884	615	472	
o.w. Fixed income, Currencies and Commodity	1,599	1,115	936	257	779	667	656	453	713	523	159	
Operating expenses	-928	-1,153	-1,026	-834	-1,140	-1,060	-1,139	-1,295	-1,299	-1,148	-958	
Gross operating income	1,896	1,657	1,609	745	1,027	620	885	599	939	644	289	
Net allocation to provisions	-348	-239	-249	-86	-19	-45	-15	7	-38	-17	-70	
Operating income	1,548	1,418	1,360	659	1,008	575	870	606	901	627	219	
Net income from other assets	0	-1	0	-6	1	-4	1	-5	2	63	25	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	21	14	18	9	0	0	0	0	0	0	
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Income tax	-494	-424	-416	-165	-305	-133	-251	-158	-260	-169	-48	
Net income before minority interests	1,054	1,014	958	506	713	438	620	443	643	521	196	
O.w. non controlling Interests	5	6	3	2	3	1	4	2	3	2	3	
Group net income	1,049	1,008	955	504	710	437	616	441	640	519	193	
Average allocated capital	7,936	7,427	6,882	6,557	6,486	6,771	7,026	7,075	6,782	6,806	6,622	
<b>Legacy assets</b>												
Net banking income	-1,592	-165	-287	-776	-23	71	-90	113	42	43	-37	
Operating expenses	-9	-9	-11	-11	-12	-14	-20	-26	-16	-15	-13	
Gross operating income	-1,601	-174	-298	-787	-35	57	-110	87	26	28	-50	
Net allocation to provisions	-221	-18	-356	-803	-214	-97	-108	-277	-96	-130	-118	
Operating income	-1,822	-192	-654	-1,590	-249	-40	-218	-190	-70	-102	-168	
Net income from other assets	0	-1	1	0	0	1	-1	0	0	0	0	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Income tax	602	63	216	525	80	12	70	61	21	32	53	
Net income before minority interests	-1,220	-130	-438	-1,065	-169	-27	-149	-129	-49	-70	-115	
O.w. non controlling Interests	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0	1	
Group net income	-1,220	-130	-437	-1,066	-169	-27	-148	-130	-49	-70	-116	
Average allocated capital	1,400	1,802	1,995	1,844	1,710	1,946	2,600	2,906	3,066	2,810	2,587	

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>Specialised Financial Services &amp; Insurance</b>												
Net banking income	740	805	810	884	849	926	888	876	873	871	850	
Operating expenses	-430	-441	-446	-501	-446	-466	-464	-465	-470	-458	-448	
Gross operating income	310	364	364	383	403	460	424	411	403	413	402	
Net allocation to provisions	-234	-293	-338	-359	-299	-311	-299	-265	-213	-214	-189	
Operating income	76	71	26	24	104	149	125	146	190	199	213	
Net income from other assets	0	1	1	-18	0	-4	0	-1	-1	-1	-3	
Net income from companies accounted for by the equity method	-18	-13	-7	-16	-1	-7	1	-5	1	8	1	
Impairment losses on goodwill	0	-19	1	-26	0	0	0	0	0	0	-200	
Income tax	-22	-18	-8	0	-30	-41	-35	-42	-55	-56	-60	
Net income before minority interests	36	22	13	-36	73	97	91	98	135	150	-49	
O.w. non controlling Interests	3	2	3	1	3	5	4	4	4	4	4	
Group net income	33	20	10	-37	70	92	87	94	131	146	-53	
Average allocated capital	4,423	4,511	4,611	4,712	4,739	4,825	4,954	4,806	4,968	5,009	5,112	
<b>Private Banking, Global Investment Management and Services</b>												
Net banking income	588	670	636	640	504	592	568	606	580	547	542	
Operating expenses	-554	-562	-557	-555	-466	-511	-504	-521	-484	-499	-486	
Gross operating income	34	108	79	85	38	81	64	85	96	48	56	
Net allocation to provisions	-18	-9	-12	-1	0	-5	5	-7	-12	-12	0	
Operating income	16	99	67	84	38	76	69	78	84	36	56	
Net income from other assets	-1	2	-1	-1	0	0	0	-1	2	0	-2	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	26	21	28	25	32	30	19	
Income tax	1	-26	-15	-20	-9	-22	-17	-23	-21	-6	-13	
Net income before minority interests	16	75	51	63	55	75	80	79	97	60	60	
O.w. non controlling Interests	1	1	1	1	0	1	0	-1	0	1	0	
Group net income	15	74	50	62	55	74	80	80	97	59	60	
Average allocated capital	1,368	1,327	1,323	1,352	1,391	1,466	1,422	1,391	1,376	1,409	1,421	
<b>o.w. Private Banking</b>												
Net banking income	197	222	206	204	162	163	203	171	220	194	190	
Operating expenses	-131	-132	-131	-132	-130	-134	-147	-140	-155	-155	-158	
Gross operating income	66	90	75	72	32	29	56	31	65	39	32	
Net allocation to provisions	-17	-9	-11	-1	0	-1	0	-3	-11	0	2	
Operating income	49	81	64	71	32	28	56	28	54	39	34	
Net income from other assets	0	0	0	0	0	0	-1	1	0	0	0	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Income tax	-11	-18	-15	-16	-8	-5	-13	-7	-10	-8	-7	
Net income before minority interests	38	63	49	55	24	23	42	22	44	31	27	
O.w. non controlling Interests	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	
Group net income	38	63	49	55	24	23	42	22	43	31	28	
Average allocated capital	452	436	443	427	405	461	473	476	502	487	505	
<b>o.w. Asset Management</b>												
Net banking income	113	169	171	193	83	135	109	150	89	80	73	
Operating expenses	-152	-151	-174	-179	-94	-133	-116	-114	-78	-87	-78	
Gross operating income	-39	18	-3	14	-11	2	-7	36	11	-7	-5	
Net allocation to provisions	0	0	0	0	0	-3	4	-4	1	-1	0	
Operating income	-39	18	-3	14	-11	-1	-3	32	12	-8	-5	
Net income from other assets	0	-1	1	-1	0	0	0	-1	0	0	0	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	26	21	28	25	32	30	19	
Income tax	13	-5	0	-4	4	0	1	-10	-4	3	2	
Net income before minority interests	-26	12	-2	9	19	20	26	46	40	25	16	
O.w. non controlling Interests	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
Group net income	-26	10	-2	8	19	20	26	46	40	25	16	
Average allocated capital	402	375	355	418	491	435	418	419	435	446	415	
<b>o.w. SG SS &amp; Brokers</b>												
Net banking income	278	279	259	243	259	294	256	285	271	273	279	
Operating expenses	-271	-279	-252	-244	-242	-244	-241	-267	-251	-257	-250	
Gross operating income	7	0	7	-1	17	50	15	18	20	16	29	
Net allocation to provisions	-1	0	-1	0	0	-1	1	0	-2	-11	-2	
Operating income	6	0	6	-1	17	49	16	18	18	5	27	
Net income from other assets	-1	3	-2	0	0	0	1	-1	2	0	-2	
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Income tax	-1	-3	0	0	-5	-17	-5	-6	-7	-1	-8	
Net income before minority interests	4	0	4	-1	12	32	12	11	13	4	17	
O.w. non controlling Interests	1	-1	1	0	0	1	0	-1	-1	1	1	
Group net income	3	1	3	-1	12	31	12	12	14	3	16	
Average allocated capital	514	516	525	507	495	570	532	496	439	476	501	

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>Corporate Centre</b>												
Net banking income	-595	-1,468	-865	-358	9	239	-252	56	-341	-48	638	
Operating expenses	5	-55	-20	-77	-38	-75	-18	-38	-45	-74	-109	
<i>Gross operating income</i>	<i>-590</i>	<i>-1,523</i>	<i>-885</i>	<i>-435</i>	<i>-29</i>	<i>164</i>	<i>-270</i>	<i>18</i>	<i>-386</i>	<i>-122</i>	<i>529</i>	
Net allocation to provisions	-4	8	-2	2	-2	-2	1	-4	-17	-384	-332	
<i>Operating income</i>	<i>-594</i>	<i>-1,515</i>	<i>-887</i>	<i>-433</i>	<i>-31</i>	<i>162</i>	<i>-269</i>	<i>14</i>	<i>-403</i>	<i>-506</i>	<i>197</i>	
Net income from other assets	3	-1	-1	725	3	-6	0	20	-7	1	0	
Net income from companies accounted for by the equity method	-1	-2	1	0	0	0	-1	4	1	-3	3	
Impairment losses on goodwill	0	1	-1	2	0	0	0	0	0	0	0	
Income tax	134	480	377	213	64	-45	83	-8	156	134	-146	
<i>Net income before minority interests</i>	<i>-458</i>	<i>-1,037</i>	<i>-511</i>	<i>507</i>	<i>36</i>	<i>111</i>	<i>-187</i>	<i>30</i>	<i>-253</i>	<i>-374</i>	<i>54</i>	
O.w. non controlling Interests	42	42	49	46	32	40	41	47	46	33	-4	
<i>Group net income</i>	<i>-500</i>	<i>-1,079</i>	<i>-560</i>	<i>461</i>	<i>4</i>	<i>71</i>	<i>-228</i>	<i>-17</i>	<i>-299</i>	<i>-407</i>	<i>58</i>	
<b>Group</b>												
Net banking income	4,913	5,716	5,970	5,131	6,581	6,679	6,301	6,857	6,619	6,503	6,504	
Operating expenses	-3,777	-4,107	-3,898	-3,984	-4,001	-4,065	-4,039	-4,440	-4,376	-4,241	-4,018	
<i>Gross operating income</i>	<i>1,136</i>	<i>1,609</i>	<i>2,072</i>	<i>1,147</i>	<i>2,580</i>	<i>2,614</i>	<i>2,262</i>	<i>2,417</i>	<i>2,243</i>	<i>2,262</i>	<i>2,486</i>	
Net allocation to provisions	-1,354	-1,075	-1,513	-1,906	-1,132	-1,010	-918	-1,100	-878	-1,185	-1,192	
<i>Operating income</i>	<i>-218</i>	<i>534</i>	<i>559</i>	<i>-759</i>	<i>1,448</i>	<i>1,604</i>	<i>1,344</i>	<i>1,317</i>	<i>1,365</i>	<i>1,077</i>	<i>1,294</i>	
Net income from other assets	3	11	0	697	12	-12	-2	13	1	63	20	
Net income from companies accounted for by the equity method	-16	10	12	9	40	18	33	28	38	40	32	
Impairment losses on goodwill	0	-18	0	-24	0	0	0	1	0	0	-200	
Income tax	60	-122	-40	410	-375	-431	-372	-364	-370	-317	-455	
<i>Net income before minority interests</i>	<i>-171</i>	<i>415</i>	<i>531</i>	<i>333</i>	<i>1,125</i>	<i>1,179</i>	<i>1,003</i>	<i>995</i>	<i>1,034</i>	<i>863</i>	<i>691</i>	
O.w. non controlling Interests	107	106	105	112	62	95	107	121	118	116	69	
<i>Group net income</i>	<i>-278</i>	<i>309</i>	<i>426</i>	<i>221</i>	<i>1,063</i>	<i>1,084</i>	<i>896</i>	<i>874</i>	<i>916</i>	<i>747</i>	<i>622</i>	
Average allocated capital	29,274	29,373	29,889	32,442	35,339	36,503	37,187	37,538	37,972	38,754	40,114	
Group ROE (after tax)	NM	2.9%	4.1%	1.5%	11.1%	10.9%	8.7%	8.4%	8.8%	6.9%	5.4%	

**付属書類：財務諸表作成の基準となる事項**

1- 2011年9月30日に終了した当グループの第3四半期連結決算は、2011年11月7日の取締役会において承認された。

2011年9月30日に終了した9カ月間に関する財務情報は、この日付において適用されている、欧州連合が採択しており、国際財務報告基準（IFRS）に準拠した方法により作成されている。本財務情報は、国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」により定められている中間財務報告を構成するものではない。ソシエテ ジェネラルの経営陣は、2011年通期の連結財務諸表を公表する予定である。

2-グループ ROE は、IFRS 基準によるグループの平均株主資本に基づいており、(i)株主資本の部に直接計上された未実現または繰り延べキャピタルゲインもしくはキャピタルロス（転換準備金を除く）、(ii)超劣後債、(iii)株主資本として認識された永久劣後債、を除外し、(iv)超劣後債および修正再表示された永久劣後債に係る支払利息を控除したうえで算出している。また、ROE の算出に使用した当期純利益は、超劣後債に係る当期分の税引き後支払利息、および 2006 年以降は、修正再表示された永久劣後債に係る税引き後支払利息（2011年第3四半期は 8,100 万ユーロ、2011年1～9月期は 2億 4,300 万ユーロ）を除外したものである。

3- 普通株 1 株当たり利益を算出する上で、「グループ当期純利益」を以下の項目に係る税引き後支払利息において修正した（利益の場合は削減し、損失の場合は追加）。

- (i) 超劣後債（2011年第3四半期は 7,500 万ユーロ、2011年1～9月期は 2億 2,500 万ユーロ）
- (ii) 株主資本として認識された永久劣後（2011年第3四半期は 600 万ユーロ、2011年1～9月期は 1,800 万ユーロ）

従って、普通株 1 株当たり利益は、修正後の当期純利益を平均発行済み株式数から自己株式を控除した数字で除して求める。ただし、(a) トレーディング目的で保有する自己株式、および (b) 流動性契約に基づき保有する自己株式は平均発行済み株式数に含まれる。

4- 純資産は、以下を除くグループ株主資本より構成される (i) 超劣後債（63億ユーロ）、従来は負債に分類されていた永久劣後債（9億ユーロ、(ii) 超劣後債および永久劣後債に係る支払利息。ただしトレーディング目的で保有する自己株式および流動性契約に基づき保有する自己株式の帳簿価額は含まれている。一株当たり純資産の算出に使用した株式数は、2011年9月30日現在の発行済み株式数（優先株を含む）から自己株式および金庫株を控除したものである。ただし、(a) トレーディング目的で保有する自己株式、および (b) 流動性契約に基づき保有する自己株式は含まれている。

5- ソシエテジェネラル グループのコア Tier 1 資本とは、Tier 1 資本から Tier 1 に算入可能なハイブリッド商品の残高およびバーゼル II に基づく控除率を差し引いたものである。この控除率とは、コア Tier 1 資本から Tier 1 資本に算入可能なハイブリッド商品を差し引いたものと、コア Tier 1 資本との割合に相当する。

2011年第3四半期および9月期の詳細（英語版）は以下のホームページでご覧いただけます  
・グループの総合ホームページ：[www.societegenerale.com](http://www.societegenerale.com)

本リリースの照会先

ソシエテ ジェネラル 証券会社 東京支店

広報部 Tel：03-5549-5580 Fax：03-5549-5129